

## 令和2年度 学校自己点検・自己評価 結果

### I. 実施方法

厚生労働省より示された「看護師など養成所の自己点検・自己評価指針」に基づき評価を行っている。評価はⅠ～Ⅸの9領域、67項目、125問からなる。「よく当てはまる」3点、「大体当てはまる」2点、「当てはまらない」1点として評価している。

### II. 実施結果

表1 各領域別平均点

領域	点数
1. 教育理念・教育目的	2.20
2. 教育目標	2.25
3. 教育課程経営	2.35
4. 教授・学習・評価過程	2.35
5. 経営・管理過程	2.16
6. 入学	2.23
7. 卒業・就業・進学	1.97
8. 地域社会／国際交流	1.71
9. 研究	1.85

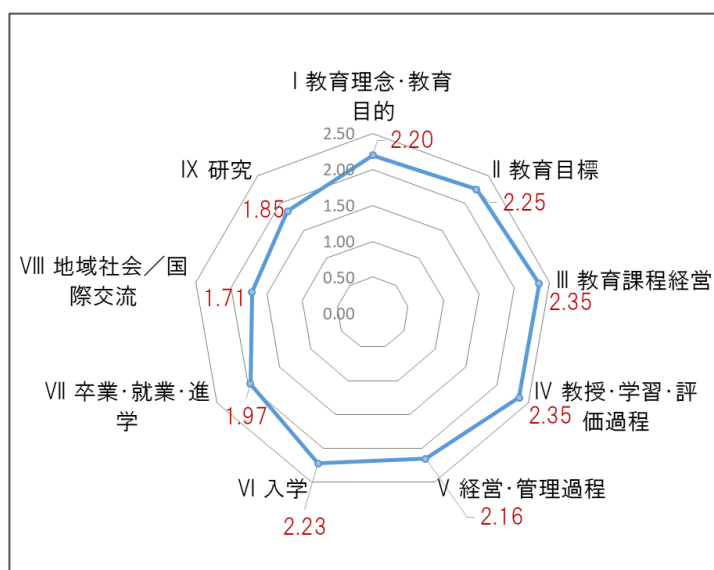


図1 自己点検・自己評価結果

#### 1. 教育理念・教育目的 (2.20)

教育理念・目的、学校の特色など教員個人は十分理解している。学生や入学希望者には、学生便覧、ホームページや学校案内パンフレットに明記している。高校生対象の進学説明会や毎年開催するオープンキャンパス、個人で学校見学を希望する来校者に詳細な説明を行い看護教育への理解を深めてもらっている。しかし、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、進学説明会、オープンキャンパスを開催することができないため、ホームページでの充実を図る。

#### 2. 教育目標 (2.25)

教育理念・教育目的をもとに教育目標を設定している。それに基づいて、学年ごとに教育目標を設定し、その目標に近づけるように各学生が目標を挙げ、学年ごとに評価できるようにしている。

### 3. 教育課程経営 (2.35)

教育理念に基づき、目的・目標のもと、科目・単元を構成し、年間の教育計画を立てている。学生には、学生便覧だけでなくシラバスを提示し、単位履修方法について理解できるようにしている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための授業変更や休業については、その都度学生や保護者に説明を行い、必要時は文書で提示した。感染拡大防止対策として、教壇にアクリル板を設置し教員と学生間の距離を取り、学生1人ひとりの座席の間隔を開け、マスク装着、手洗い、毎日の清掃、ドアノブや手すりなどの消毒を徹底した。緊急事態宣言中は休業の措置をとり、遠隔授業などの工夫をして学習に支障がないようにした。

授業科目については、教員が専門性を発揮できるように経験に応じた科目を設定し、時間配分もひとりに負荷がかからないよう体制を整えている。感染拡大防止のため中止となった臨地実習は、シミュレーション人形を有効に使い、ペーパーペイシエントでの看護過程の展開を行い、実習目標を達成した。

教員が自ら自己研鑽できるようにしているが、感染拡大防止のために県外への研修参加はできず、可能な限り遠隔（ZOOMなど）での研修に参加した。

### 4. 教授・学習・評価過程 (2.35)

「科学的看護を実践できる看護師」を育成するために、看護過程を含む基礎看護技術においては教員間で共通認識を持ち教授している。学習支援の動機付けを意識し取り組んでいる。学生・実習指導者・教員間での共通理解ができるよう、臨地実習の評価はルーブリック評価を用い、学生にフィードバックしている。

### 5. 経営・管理過程 (2.16)

設置主体は周防大島町である。学校の運営組織は組織化されており、教育目的に沿った運営方針、年間予算案・事業計画が策定され、進捗管理は運営会議にて行っている。学校運営全体に関しては業務分担表にて役割を明記している。財政基盤に対する意識はやや低いが、学生生活の支援や組織運営に関しては概ねできている。

### 6. 入学 (2.23)

入学希望者に当校の教育理念や方針が分かるようにホームページ、スクールガイド、募集要項等に明記している。また、入学者選抜の方法についても、指定校推薦入試、社会人入試、推薦入試、一般入試等、幅広く受け入れをしているが、少子化・大学進学化傾向にて入学生の確保が徐々に難しくなっている。一般入試の試験回数を増やし、社会人入学者についても積極的に受け入れるようホームページなどで明記する。

## 7. 卒業・就業・進学 (1.97)

卒業前にはケーススタディ発表会を行い、学生自身の看護観を深め、進学・就職に向けての動機付けを行っている。看護師国家試験に向けての対策を強化しており、過去 8 年間の国家試験の合格率はほぼ 100%である。就職希望者の就職率は 100%であり、実習病院に就職した卒業生の活動状況は把握できているが、県外就職も増加しており、卒業生全員の活動状況についての把握は困難である。

## 8. 地域社会／国際交流 (1.71)

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校祭、学校周辺地域の火災訓練への参加やボランティア活動、地域の駅伝などの参加ができなかった。

周防大島町はハワイ州のカウアイ島と姉妹島であることに由来し、ハワイ研修旅行にて施設見学や国際交流を図っているが、感染拡大防止のため研修旅行は実施できていない。

## 9. 研究 (1.85)

教員として研究の必要性は理解している。周防大島町病院事業局内に倫理委員会を設置しており、研究に対する環境は整っている。研究に取り組み学会発表の経験がある教員は研究に対する意欲が高い。研究経験がない教員への動機付けとして学会への参加や、共同研究として参加することなど各教員が研究活動に取り組めるように意識付けすることが課題である。